

平成28年度事業計画書

公益財団法人 医学教育振興財団

平成28年度においては、事業の一層の充実発展を期し、以下の計画を推進する。

1. 医学教育に関する調査・研究並びに資料の収集

(1) 第36回「国内医科大学視察と討論の会」の開催

国内の医科大学1校を選び、医学教育のシステム、カリキュラム等について実地に視察研究し、今後の医学教育の改善に資する。

期 日：9月15日(木)・16日(金)／開催校：東京医科歯科大学医学部

2. 医学教育に関する研究の助成

(1) 基礎医学教育、臨床医学教育及び卒直後教育の調査・研究に対する助成

(2) 医学教育賞(懸田賞)

3. 医学教育機関の教職員及び学生に対する研修及び援助

(1) 第28回「医学教育指導者フォーラム」の開催

国公立医科大学(医学部)における医学教育の改善並びに教育研究組織の円滑な管理運営に資するため、医学教育について責任ある立場の者を対象に開催する。

期 日：7月26日(火)／会 場：東京慈恵会医科大学1号館講堂

テーマ：「卒前教育と卒後研修のシームレスな連携－臨床研修の位置付けを考える－」

講 師：＜英国＞ Professor Derek Gallen

(Medical Director, The Foundation Programme)

＜英国＞ Mr Martin Hart

(Assistant Director, Education and Standards, General Medical Council)

(2) 英国大学医学部における臨床実習のための短期留学

①医学生の派遣

派遣予定校6校(ニューキャッスル・セントジョージ・プリマス・オックスフォード・グラスゴー・リーズ)

(3) 川崎学園・グリーンテンプレトンカレッジ(JMEF)フェローシップ

医学研究者を英国オックスフォード大学グリーンテンプレトンカレッジに医学研究等のために留学させる。

(4) 基礎研究医養成支援事業

各大学が実施している基礎研究医養成プログラムに在籍する学生に奨学金を支給する。

4. 医学教育資料等の刊行

『J.M.E.F.』の刊行、「国内医科大学視察と討論の会」、「英国短期留学」報告書の作成

5. その他目的を達成するための事業

内外の関連機関・団体との提携、協力及び交流を行なうほか、医学教育機関から委託された事業を行う。

平成28年度 事業報告書

(平成28年4月から平成29年3月まで)

公益財団法人 医学教育振興財団

平成28年度において、事業の一層の充実を図りつつ、次のとおり事業を実施した。

1. 医学教育に関する調査・研究並びに資料の収集

(1) 第36回「国内医科大学視察と討論の会」の開催

国内医学教育事情調査の一環として、東京医科歯科大学の協力のもとに「東京医科歯科大学における教育」を討論の主題として、大学からの説明、討論、及び学生との懇談を行い、学内施設の視察を行った。全国の国公立大学医学部等関係者112名が参加した。

① 期日：平成28年9月15日（木）・16日（金）

② 場所：東京医科歯科大学

③ 討論の主題：ア 医歯学融合教育：より深化した融合をめざして

イ 診療参加型臨床実習：導入と質保証に向けた取組み

ウ 研究医養成：将来を担う資質を培う

エ Global Human Resources Development: Expanding Horizons for Future Healthcare Professionals

（グローバル人材育成：将来を担う医療人の視野を広げる）

④ プログラム：

9月15日（木）

- ・ 開会挨拶 小川 秀興（医学教育振興財団理事長）
吉澤 靖之（東京医科歯科大学長）
江石 義信（東京医科歯科大学医学部長）
- ・ 特別講演Ⅰ「医学教育の現状と課題」
講演者）佐々木昌弘（文部科学省高等教育局医学教育課企画官）
- ・ 医学科カリキュラム概要説明 秋田 恵一（東京医科歯科大学医学科教育委員会委員長）
- ・ 講演（1）「医歯学融合教育：より深化した融合をめざして」
講演者）中川 美奈（東京医科歯科大学統合教育機構准教授）
- ・ 講演（2）「診療参加型臨床実習：導入と質保証に向けた取組み」
講演者）高田 和生（東京医科歯科大学統合教育機構教授）
- ・ 講演（3）「研究医養成：将来を担う資質を培う」
講演者）浅原 弘嗣（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科教授）
- ・ 講演（4）「Global Human Resources Development: Expanding Horizons for Future Healthcare Professionals」
（グローバル人材育成：将来を担う医療人の視野を広げる）
講演者）Moross Janelle Renee（東京医科歯科大学統合国際機構准教授）
- ・ 学生との懇談
- ・ 懇親会（ホテル東京ガーデンパレス）

9月16日（金）

- ・ 特別講演Ⅱ「医学教育の改革について」
講演者）田中雄二郎（東京医科歯科大学医療・国際協力担当理事）

- ・ 総合討論 司 会) 伴 信太郎 (名古屋大学大学院医学系研究科教授)
- ・ 閉会挨拶 跡見 裕 (医学教育振興財団常務理事)
田中雄二郎 (東京医科歯科大学医療・国際協力担当理事)
- ・ 施設見学 ①グローバル教育用演習室 ②医学科講義室 2 及びモニター室 ③解剖実習室

2. 医学教育に関する研究の助成

(1) 平成 28 年度「医学教育研究助成」

① 基礎医学教育、臨床医学教育及び卒後医学教育の調査・研究に対する助成事業である。本財団の審査委員会において審査を行い、申請 18 件のうち 5 件を決定した。

- ・ 伊藤 彰一 (千葉大学大学院医学研究院・医学部医学教育研究室講師)
「医学生の医療安全についての能力発達の把握と効果的・体系的カリキュラムの検討ー臨床実習および医療安全セミナー「WHO 患者安全カリキュラムガイド多職種版」の有効性についてー」
286,000 円
- ・ 加治 建 (鹿児島大学学術研究院医歯学域医学系小児外科学分野准教授)
「医療安全水準向上を目指した卒前・卒後教育における至適内視鏡外科手術トレーニング方法の開発」
342,000 円
- ・ 須崎 康恵 (奈良県立医科大学女性研究者支援センター講師)
「アカデミックキャリア男女間格差解消を目指した新たな継続型ジェンダー教育プログラムの構築」
290,000 円
- ・ 秋山 暢 (帝京大学医学部内科学講座准教授／医学教育センター副センター長)
「LMS を用いた講義予習テストおよび復習テストの有用性についての検討」
353,000 円
- ・ 芦田 ルリ (東京慈恵会医科大学国際交流センター准教授)
「海外臨床実習制度がグローバルな医療者育成へ貢献しているかの分析研究」
296,000 円

② 平成 27 年度「医学教育研究助成報告会」の開催

平成 28 年 12 月 14 日 (水) 第一ホテル東京において、本財団役員等を対象に平成 27 年度の医学教育研究助成の研究成果報告会を行った。

- ・ 報告 1 「医師臨床研修制度における被災地での地域医療研修の実態調査」
報告者) 田中 淳一 (東北大学病院総合地域医療教育支援部助教)
- ・ 報告 2 「音声認識システム Ami Voice[®]を用いたフィードバックによる臨床推論能力向上に関する調査」
報告者) 鋪野 紀好 (千葉大学医学部附属病院総合診療部兼総合医療教育研修センター特任助教)

- ・報告3「新医師臨床研修制度における初期臨床研修医の「共感性(Empathy)」育成に関する調査研究」
報告者) 小比賀美香子(岡山大学病院卒後臨床研修センター助教)
- ・報告4「医学教育における反転授業を活用したアクティブ・ラーニングの実践と評価」
報告者) 西屋 克己(香川大学医学部准教授)
- ・報告5「自殺未遂患者に対する初療医のリスク・アセスメントの実践に関する研究」
報告者) 藤澤 大介(慶應義塾大学医学部専任講師)

司 会) 泉 美貴(東京医科大学教授)

(2) 平成28年度「医学教育賞(懸田賞)」

若手の研究者を対象として、医学教育の奨励に貢献のあった者に与える医学教育賞(懸田賞)の第23号を授与した。なお、選考は日本医学教育学会に依頼した。

第23号受賞者: 菊川 誠(九州大学大学院医学研究院医学教育学講座講師)

論文: An instrument for evaluating clinical teaching in Japan: content validity and cultural sensitivity (BMC Medical Education 2014, 14:179 Open Access)

3. 医学教育機関の教職員及び学生に対する研修及び援助

(1) 第28回「医学教育指導者フォーラム」の開催

平成28年7月26日(火)東京慈恵会医科大学において、医学教育に責任のある方々を対象に、全国の国公私立大学医学部等関係者136名が参加して医学教育指導者フォーラムを開催した。

① 主題「卒前教育と卒後研修のシームレスな連携-臨床研修の位置付けを考える-」

② プログラム

- ・開会挨拶 小川 秀興(医学教育振興財団理事長)
佐々木昌弘(文部科学省高等教育局医学教育課企画官)
- ・趣旨説明 福島 統(東京慈恵会医科大学教授/教育センター長)
- ・講演1 “The U.K. Foundation Programme. Past, Present and Future”
講演者) Derek Gallen
(National Director, UK Foundation Programme, UK)
司 会) 吉岡 俊正(東京女子医科大学理事長・学長)
- ・講演2 “The transition from medical school to practice: a regulator’s perspective”
講演者) Martin Hart
(Assistant Director, Education and Standards, General Medical Council, UK)
司 会) 栗原 敏(東京慈恵会医科大学理事長)
- ・総合討論 司 会) 前野 哲博(筑波大学医学医療系教授)

話題提供「卒後臨床研修: 卒前教育の立場から」

講演者) 北村 聖(東京大学医学教育国際研究センター教授)

話題提供「卒後臨床研修の学習目標を再構築する」

講演者) 大滝 純司 (北海道大学医学教育推進センター教授)

話題提供「研修プログラムに基づく専門医育成」

講演者) 池田 康夫 (早稲田大学特命教授、慶應義塾大学名誉教授
一般社団法人日本専門医機構前理事長)

パネリスト) Derek Gallen/Martin Hart/北村聖/大滝純司/池田康夫

・閉会挨拶 小川 秀興 (医学教育振興財団理事長)

・レセプション (懇談会)

(2) 第28回「英国大学医学部における臨床実習のための短期留学」の実施

本制度は日本における卒前臨床教育の充実向上を図るため、本財団の推薦した日本の医学生が、英国の大学医学部において、4週間の臨床実習を体験する制度で、28回目を実施した。全国の国公私立大学医学部医学科からの応募学生63名のうち21名を本財団の選考委員会において選考し、次のとおり派遣した。ダンディー大学へ新規に派遣した。

① 留学期間：

- ・平成29年3月6日(月)～3月31日(金)
- ・平成29年6月5日(月)～6月30日(金) リーズ

② 留学生：

- ・ニューキャッスル大学医学部
渡邊 洋章 (北海道大学) 白井友理恵 (信州大学)
安井さつき (奈良県立医科大学) 王 浚昊 (東海大学)
- ・ロンドン大学セントジョージ校医学部
小林 由季 (千葉大学) 三枝 義尚 (広島大学)
安藤 悠哉 (防衛医科大学校) 八城 弘憲 (金沢医科大学)
- ・プリマス大学ペニンシュラ医学部
濱 崇哲 (岐阜大学) 今村 沙弓 (岡山大学)
- ・オックスフォード大学医学部
吉田 響子 (東京医科歯科大学) 赤木 雄 (横浜市立大学)
- ・グラスゴー大学医学部
吉松 凜 (旭川医科大学) 村田 夕紀 (愛媛大学)
西川 理菜 (京都府立医科大学) 前田未知可 (大阪医科大学)
- ・リーズ大学医学部
張 かほり (東京医科歯科大学) 石原 知美 (岐阜大学)
田中 佑季 (神戸大学) 小串 真澄 (佐賀大学)
- ・ダンディー大学医学部
吉川 宏 (横浜市立大学)

(3) 基礎研究医養成支援事業

各大学が実施している基礎研究医養成プログラムに在籍する学生に奨学金(年額120万円)を支給する事業である。平成28年度は本財団の審査委員会において審査を行い、申請9件

のうち8件を決定した。

植松 真章 (東京大学)	根岸 修人 (名古屋大学)
諸橋 啓太 (滋賀医科大学)	高岡 沙織 (京都大学)
平田雄一郎 (大阪大学)	安井さつき (奈良県立医科大学)
鈴木 佑治 (順天堂大学)	西村 拓也 (関西医科大学)

4. 医学教育資料等の刊行

平成28年度においては、『J.M.E.F.』第30号・第31号を編集刊行した。また、第36回「国内医科大学視察と討論の会」(開催：東京医科歯科大学) 報告書、「英国大学医学部での臨床実習のための短期留学」報告書(平成25年度・平成26年度・平成27年度)及び第28回「医学教育指導者フォーラム」記録集を作成した。

5. その他

(1) 平成28年度「医学・歯学教育指導者のためのワークショップ」への協力

「医学・歯学教育指導者のためのワークショップ」(文部科学省主催、公益財団法人医学教育振興財団・一般社団法人全国医学部長病院長会議等協力)は、平成28年7月27日(水)東京慈恵会医科大学において、国公私立医科・歯科大学学長、医学部長、歯学部長を対象に開催され、これに協力した。

6. 会員

全医科大学・医学部80校(国立43校・公立8校・私立29校)が、一般会員として事業の実施に参画している。

平成28年度に賛助会員として財団の事業にご協力いただいた企業は、次の13社である。

アステラス製薬株式会社	アルフレッサ株式会社
学園パーキング株式会社	協和発酵キリン株式会社
グラクソ・スミスクライン株式会社	塩野義製薬株式会社
株式会社スズケン	武田薬品工業株式会社
株式会社竹中工務店	第一三共株式会社
中外製薬株式会社	東邦薬品株式会社
株式会社メディセオ	

7. 寄附金等の募集

本財団が実施する各種事業の一層の拡充を図るため、下記事業にあてることを目的として寄附金等の助成を受けた。

- ・「平成28年度 医学教育振興財団事業」に対する寄附として
株式会社医学書院 50,000円
- ・「第28回 医学教育指導者フォーラム」外国人講師招聘旅費として
公益財団法人持田記念医学薬学振興財団 500,000円
- ・「基礎研究医養成支援事業」に対する寄附として
山田久仁夫様 200,000円
グラクソ・スミスクライン株式会社 10,000,000円

8. 平成28年度 医学教育振興財団 会議録

月 日	会 議 等	議 事
平成 28 年 5 月 18 日 (水)	第 8 回理事会 (共用試験実施評価機構会議室)	議案 (1) 平成 27 年度事業報告について (2) 平成 27 年度収支決算について (3) 評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等について (4) 事業報告等に係る提出書について 報告 (1) 職務の執行状況について (2) 任期途中の委員会委員の交替について (3) 平成 28 年度医学教育研究助成決定者について
6 月 15 日 (水)	第 7 回評議員会 (共用試験実施評価機構会議室)	議案 (1) 平成 27 年度事業報告について (2) 平成 27 年度収支決算について (3) 理事の選任について (4) 監事の選任について (5) 評議員の選任について 報告 (1) 事業報告等に係る提出書について (2) 任期途中の委員会委員の交替について
6 月 15 日 (水)	第 9 回理事会 (共用試験実施評価機構会議室)	議案 (1) 理事長・常務理事の選定について (2) 各種委員会委員の交替について 報告 (1) 資産運用執行責任者の任命について
7 月 26 日 (火)	第 28 回医学教育指導者フォーラム (東京慈恵会医科大学)	詳細は「事業報告書」に記載
7 月 27 日 (水)	平成 28 年度医学・歯学教育指導者のためのワークショップ (東京慈恵会医科大学)	詳細は「事業報告書」に記載
8 月 18 日 (木)	英国短期留学選考委員会 (医学教育振興財団事務所)	議案 書類選考合格者の決定について
8 月 31 日 (水)	英国短期留学選考委員会 (共用試験実施評価機構会議室)	議案 (1) 面接試験合格者の決定について (2) 留学先の決定について
9 月 15 日 (木) ～16 日 (金)	第 36 回国内医科大学視察と討論の会 (東京医科歯科大学)	詳細は「事業報告書」に記載

10月5日(水)	運営委員会 (共用試験実施評価機構会議室)	議案 平成29年度事業計画(案)について 報告 (1) 英国短期留学選考結果について (2) 川崎学園・グリーンテンプレートンカレッジ (JMEF)フェローシップ募集について
12月14日(水)	運営委員会 (第一ホテル東京)	議案 平成29年度事業計画(案)について 報告 (1) 平成28年事業報告(概要)について
12月14日(水)	平成27年度医学教育研究助成報告会 (第一ホテル東京)	詳細は「事業報告書」に記載
12月19日(月)	審査委員会(書面審議)	議案 基礎研究医養成奨学金の決定について
平成29年 2月3日(金)	審査委員会 (共用試験実施評価機構会議室)	議案 平成29年度医学教育研究助成の審査について
3月2日(木)	第10回理事会 (共用試験実施評価機構会議室)	議案 (1) 平成29年度事業計画について (2) 平成29年度収支予算について (3) 評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等について (4) 東北医科薬科大学の入会について (5) 各種委員会委員の選任について 報告 (1) 職務の執行状況について
3月14日(火)	第8回評議員会 (共用試験実施評価機構会議室)	報告 (1) 平成29年度事業計画について (2) 平成29年度収支予算について (3) 東北医科薬科大学の入会について (4) 各種委員会委員の選任について

附属明細書

事業における重要な事項は平成28年度事業報告書に記載されており、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は、特に無いため、当年度の附属明細書は作成しない。

収支予算書（損益計算ベース）

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

公益財団法人医学教育振興財団

（単位：円）

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合 計	27年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
① 基本財産運用益	2,927,400	1,254,600	4,182,000	4,182,000	0
② 特定資産運用益	1,642,000	0	1,642,000	1,804,500	△ 162,500
③ 受取会費	23,380,000	10,020,000	33,400,000	33,700,000	△ 300,000
④ 事業収益	1,000,000	0	1,000,000	1,000,000	0
⑤ 受取寄付金	20,800,000	0	20,800,000	21,000,000	△ 200,000
⑥ 雑収益	10,000	0	10,000	10,000	0
経常収益計	49,759,400	11,274,600	61,034,000	61,696,500	△ 662,500
(2) 経常費用					
① 事業費	58,515,000		58,515,000	58,432,409	82,591
奨学金事業費	20,000,000		20,000,000	20,000,000	0
給料手当	16,100,000		16,100,000	16,100,000	0
退職給付費用	500,000		500,000	417,402	82,598
法定福利費	2,415,000		2,415,000	2,415,000	0
会議費	600,000		600,000	600,000	0
旅費交通費	1,300,000		1,300,000	1,300,000	0
通信運搬費	300,000		300,000	300,000	0
減価償却費	0		0	7	△ 7
消耗品費	100,000		100,000	100,000	0
賃借料	3,000,000		3,000,000	3,000,000	0
調査研究費	3,000,000		3,000,000	3,000,000	0
広報普及費	600,000		600,000	600,000	0
学術会議費	8,500,000		8,500,000	8,500,000	0
研究助成費	2,000,000		2,000,000	2,000,000	0
雑役務費	100,000		100,000	100,000	0
② 管理費		11,605,000	11,605,000	11,583,889	21,111
役員報酬		60,000	60,000	60,000	0
給料手当		6,900,000	6,900,000	6,900,000	0
退職給付費用		200,000	200,000	178,886	21,114
法定福利費		1,035,000	1,035,000	1,035,000	0
福利厚生費		110,000	110,000	110,000	0
会議費		50,000	50,000	50,000	0
旅費交通費		500,000	500,000	500,000	0
通信運搬費		100,000	100,000	100,000	0
減価償却費		0	0	3	△ 3
消耗品費		400,000	400,000	400,000	0
光熱水料費		350,000	350,000	350,000	0
賃借料		1,200,000	1,200,000	1,200,000	0
諸謝金		100,000	100,000	100,000	0
交際費		100,000	100,000	100,000	0
雑役務費		500,000	500,000	500,000	0
経常費用計	58,515,000	11,605,000	70,120,000	70,016,298	103,702
当期経常増減額	△ 8,755,600	△ 330,400	△ 9,086,000	△ 8,319,798	△ 766,202
2 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 8,755,600	△ 330,400	△ 9,086,000	△ 8,319,798	△ 766,202
一般正味財産期首残高	429,221,878	95,697,359	524,919,237	533,239,035	△ 8,319,798
一般正味財産期末残高	420,466,278	95,366,959	515,833,237	524,919,237	△ 9,086,000
II 指定正味財産増減の部	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	420,466,278	95,366,959	515,833,237	524,919,237	△ 9,086,000

貸借対照表

平成29年3月31日現在

(単位: 円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	29,565	68,286	△38,721
預金	5,174,956	9,260,264	△4,085,308
流動資産合計	5,204,521	9,328,550	△4,124,029
2 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	299,604,000	299,505,000	99,000
基本財産合計	299,604,000	299,505,000	99,000
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	2,884,853	4,404,378	△1,519,525
国際交流事業基金			
投資有価証券	210,000,000	210,000,000	0
預金	18,306,085	21,160,721	△2,854,636
特定資産合計	231,190,938	235,565,099	△4,374,161
(3) その他固定資産			
什器備品	8	10	△2
電話加入権	233,400	233,400	0
その他固定資産合計	233,408	233,410	△2
固定資産合計	531,028,346	535,303,509	△4,275,163
資産合計	536,232,867	544,632,059	△8,399,192
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	146,583	170,284	△23,701
預り金	444,703	585,363	△140,660
流動負債合計	591,286	755,647	△164,361
2 固定負債			
退職給付引当金	2,884,853	4,404,378	△1,519,525
固定負債合計	2,884,853	4,404,378	△1,519,525
負債合計	3,476,139	5,160,025	△1,683,886
III 正味財産の部			
1 一般正味財産	532,756,728	539,472,034	△6,715,306
(うち基本財産への充当額)	(299,604,000)	(299,505,000)	(99,000)
(うち特定資産への充当額)	(231,190,938)	(235,565,099)	(4,374,161)
正味財産合計	532,756,728	539,472,034	△6,715,306
負債及び正味財産	536,232,867	544,632,059	△8,399,192

正味財産増減計算書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位: 円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	4,179,418	4,182,000	△ 2,582
② 特定資産運用益	1,888,964	1,481,985	406,979
③ 受取会費	33,400,000	31,900,000	1,500,000
④ 事業収益	935,000	990,000	△ 55,000
⑤ 受取寄付金	10,750,000	12,800,000	△ 2,050,000
⑥ 雑収益	464	73,738	△ 73,274
経常収益計	51,153,846	51,427,723	△ 273,877
(2) 経常費用			
① 事業費	46,494,303	45,192,521	1,301,782
奨学金事業費	9,607,666	9,606,802	864
給料手当	16,385,339	15,514,735	870,604
退職給付費用	310,237	432,928	△ 122,691
法定福利費	1,915,685	1,858,632	57,053
会議費	454,276	472,443	△ 18,167
旅費交通費	383,072	812,840	△ 429,768
通信運搬費	376,093	336,387	39,706
減価償却費	0	0	0
消耗品費	434,409	88,560	345,849
賃借料	2,842,968	2,916,444	△ 73,476
調査研究費	2,037,466	3,063,781	△ 1,026,315
広報普及費	363,139	305,640	57,499
学会会議費	9,488,105	7,830,753	1,657,352
研究助成費	1,717,432	1,799,000	△ 81,568
雑役務費	178,416	153,576	24,840
② 管理費	11,374,847	10,498,191	876,656
役員報酬	60,000	60,000	0
給料手当	7,022,286	6,649,172	373,114
退職給付費用	132,958	185,541	△ 52,583
法定福利費	821,007	796,559	24,448
福利厚生費	86,650	103,500	△ 16,850
会議費	91,347	36,465	54,882
旅費交通費	466,060	235,680	230,380
通信運搬費	74,649	60,716	13,933
減価償却費	0	0	0
消耗品費	529,309	441,251	88,058
光熱水料費	344,532	326,604	17,928
賃借料	1,065,576	1,065,576	0
諸謝金	97,200	97,200	0
交際費	5,400	0	5,400
雑役務費	577,873	439,927	137,946
経常費用計	57,869,150	55,690,712	2,178,438
当期経常増減額	△ 6,715,304	△ 4,262,989	△ 2,452,315

科 目	当年度	前年度	増減
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	2	0	2
当期経常外増減額	△ 2	0	△ 2
当期一般正味財産増減額	△ 6,715,306	△ 4,262,989	△ 2,452,317
一般正味財産期首残高	539,472,034	543,735,023	△ 4,262,989
一般正味財産期末残高	532,756,728	539,472,034	△ 6,715,306
II 指定正味財産増減の部			
III 正味財産期末残高	532,756,728	539,472,034	△ 6,715,306

正味財産計算書内訳表
平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位: 円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	2,925,593	1,253,825		4,179,418
② 特定資産運用益	1,888,964	0		1,888,964
③ 受取会費	23,380,000	10,020,000		33,400,000
④ 事業収益	935,000	0		935,000
⑤ 受取寄付金	10,750,000	0		10,750,000
⑥ 雑収益	464	0		464
経常収益計	39,880,021	11,273,825	0	51,153,846
(2) 経常費用				
① 事業費	46,494,303		0	46,494,303
奨学金事業費	9,607,666			9,607,666
給料手当	16,385,339			16,385,339
退職給付費用	310,237			310,237
法定福利費	1,915,685			1,915,685
会議費	454,276			454,276
旅費交通費	383,072			383,072
通信運搬費	376,093			376,093
減価償却費	0			0
消耗品費	434,409			434,409
賃借料	2,842,968			2,842,968
調査研究費	2,037,466			2,037,466
広報普及費	363,139			363,139
学術会議費	9,488,105			9,488,105
研究助成費	1,717,432			1,717,432
雑役務費	178,416			178,416
② 管理費		11,374,847	0	11,374,847
役員報酬		60,000		60,000
給料手当		7,022,286		7,022,286
退職給付費用		132,958		132,958
法定福利費		821,007		821,007
福利厚生費		86,650		86,650
会議費		91,347		91,347
旅費交通費		466,060		466,060
通信運搬費		74,649		74,649
減価償却費		0		0
消耗品費		529,309		529,309
光熱水料費		344,532		344,532
賃借料		1,065,576		1,065,576
諸謝金		97,200		97,200
交際費		5,400		5,400
雑役務費		577,873		577,873
経常費用計	46,494,303	11,374,847	0	57,869,150
当期経常増減額	△ 6,614,282	△ 101,022	0	△ 6,715,304
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計		2	0	2
当期経常外増減額	0	△ 2	0	△ 2
当期一般正味財産増減額	△ 6,614,282	△ 101,024	0	△ 6,715,306
一般正味財産期首残高	440,888,746	98,583,288		539,472,034
一般正味財産期末残高	434,274,464	98,482,264		532,756,728
II 指定正味財産増減の部	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	434,274,464	98,482,264		532,756,728

附属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	投資有価証券	299,505,000	99,000	0	299,604,000
	基本財産計	299,505,000	99,000	0	299,604,000
特定資産	退職給付引当資産	4,404,378	443,195	1,962,720	2,884,853
	国際交流事業基金(投資有価証券)	210,000,000	100,000,000	100,000,000	210,000,000
	国際交流事業基金(普通預金)	21,160,721	0	2,854,636	18,306,085
	特定資産計	235,565,099	100,443,195	104,817,356	231,190,938

2 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	4,404,378	443,195	1,962,720	0	2,884,853

財 産 目 録

平成29年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金	手元保管	運転資金として	29,565
	預金	<普通預金> みずほ銀行町村会館出張所 りそな銀行本郷支店	運転資金として	4,889,176
		<通常貯金> ゆうちょ銀行	運転資金として	285,780
流動資産合計				5,204,521
(固定資産)				
基本財産	投資有価証券	第39回ソフトバンク社債他	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業及び管理目的の財源として使用している。(共用財産)	299,604,000
特定資産	退職給付引当資産	<普通預金> 三菱東京UFJ銀行赤坂支店	職員退職給付引当金見合の引当資産として管理している。	2,884,853
	国際交流事業基金	<投資有価証券> 第13回大和証券グループ社債他	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している。	210,000,000
		<普通預金> 三菱東京UFJ銀行虎ノ門支店	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している。	18,306,085
その他の 固定資産	什器備品	財団内：金庫、書架他	法人の基礎となる財産であり、公益目的保有財産として70%、管理目的として30%使用している。(共用財産)	8
	電話加入権	財団内：03-3815-3895他2本	法人の基礎となる財産であり、公益目的保有財産として70%、管理目的として30%使用している。(共用財産)	233,400
固定資産合計				531,028,346
資産合計				536,232,867
(流動負債)				
	未払金	職員	職員3名の3月分の超過勤務手当として	146,583
	預り金	職員	職員3名の源泉所得税、社会保険料、住民税の預かり分	444,703
流動負債合計				591,286
(固定負債)				
	退職給付引当金	職員	職員3名に対する退職金の支払いに備えたもの	2,884,853
固定負債合計				2,884,853
負債合計				3,476,139
正味財産				532,756,728